

平成 29 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス			
教科目名	工業英語	担当教員	加藤浩三
学年学科	4 年機械工学科	前期	必修 1 単位
学習・教育目標	(C-2) 100%		JABEE 基準 1 (1):(f) 100%
授業の目標と期待される効果： 技術英文文献の読解能力の向上を目的としている。 ① 使用頻度の高い技術英単語の意味を理解している。 ② 高等学校英語の基本的な英文法を理解している。 ③ 技術英文の構成を理解し、英文の趣旨を理解することができる。 ④ 技術英文の趣旨を理解し、平易で妥当な和文に訳すことができる。		成績評価の方法： 2 回の定期試験の 200 点を総得点とする。 なお、以下の項目により総得点を最大 50 点まで減ずる。 ① 授業中の私語 (-5) ③ 授業中の熟睡、あるいは本教科目以外の業務等 (-5) ③ 授業中ノートを執らない (-5) ④ 宿題等の提出物の未提出 (-5) ⑤ 所定の教科書を準備しない (-5)。 なお、教室外学修の課題自体は、そのまま総得点率には反映されることはないが、課題は定期試験の出題範囲であるので、定期試験を介して総得点率に反映される。	
		達成度評価の基準： 以下の 3 項目の重み付けは均等である。各達成度項目についての出題について 6 割以上の正解を合格とする。 ① 使用頻度の高い技術英単語の意味を理解している。 ② 高等学校英語の基本的な英文法を理解している。 ③ 技術英文の構成を理解し、英文の趣旨を理解することができる。 ④ 技術英文の趣旨を理解し、平易で妥当な和文に訳すことができる。	
授業の進め方とアドバイス： ① この機会に機械工学の基本的な専門用語は覚えよう。1 日に少しずつ覚える努力なしには能力は身につかない。 ② 翻訳ソフトを利用しては、英文解釈能力はいつまでたっても身につかない。 ③ やむなく遅刻した場合に、その都度、授業担当教員に関連の記録を確認することは各学生の責任である。			
教科書および参考書： 教科書：青柳忠克著、やさしい機械英語（改定 2 版）、オーム社（1994）、ISBN978-4-274-1295974-0 副教材：亀山太一監修、COSET2600 理工系学生のための必修英単語 2600（2012）、ISBN978-7919-5095-9 参考書：S. Kalapkjian, S. R. Schmid, "Manufacturing Engineering and Technology 4th edition", Prentice Hall.			
授業の概要と予定：前期			AL
第 01 回：シラバス解説，五文型，教科書 II 章 6 節 応力ひずみ線図			C
第 02 回：接続詞，「S+V」が複数ある場合にどっちが主役？ 教科書 II 章 7 節 金属の性質			C
第 03 回：存在の意味の There is ～，教科書 II 章 8 節 合金			C
第 04 回：関係代名詞，現在分詞・過去分詞が名詞を修飾，教科書 III 章 1 節 機械			C
第 05 回：influence of A on B と effect of A on B，教科書 III 章 2 節 旋盤			C
第 06 回：the 比較級 S+V～，the 比較級 S+V ～ の構文，教科書 III 章 3 節 フライス盤			C
第 07 回：数式の後の where は『ただし』，教科書 III 章 4 節 ボール盤			C
第 08 回：中間のまとめ			
第 09 回：同じ単語群を繰り返す代わりに「that of」，教科書 III 章 5 節 研削盤			C
第 10 回：実験レポートの構成は英技術文献の構成を真似ている，教科書 III 章 8 節 溶接			C
第 11 回：” Because ” を「なぜならば～」と訳すとは限らない，教科書 III 章 9 節 鍛造			C
第 12 回：教科書 III 章 10 節 金属の鋳造			C
第 13 回：教科書 III 章 6 節 金属切削の機構			C
第 14 回：教科書 III 章 11 節 冷間圧延鋼料			C
期末試験			
第 15 回：期末試験の解説 教科書 III 章 12 節 熱処理			

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 （優）	標準的な到達 レベルの目安 （良）	未到達 レベルの目安 （不可）
①	使用頻度の高い技術英単語の意味を理解している。（8割）	使用頻度の高い技術英単語の意味を理解している。（6割）	頻出の同じ単語を何度も辞書で引く。（describe 等）
②	高等学校英語の基本的な英文法を理解している。（8割）	高等学校英語の基本的な英文法を理解している。（6割）	高等学校はおろか，中学校程度の英文法も修得していない。
③	技術英文の構成を理解し，英文の趣旨を理解することができる。（8割）	技術英文の構成を理解し，英文の趣旨を理解することができる。（6割）	技術英文の構成を理解し，英文の趣旨を理解することができない。（6割未満）
④	技術英文の趣旨を理解し，平易で妥当な和文に訳することができる。（8割）	技術英文の趣旨を理解し，平易で妥当な和文に訳することができる。（6割）	技術英文の趣旨を理解し，平易で妥当な和文に訳することができる。（6割未満）